

7月3日と7月21日に急性期看護研修を開催しました。



「急性期で働く看護師として根拠に基づいた病態の変化の予測やアセスメントといった看護実践能力を高める」を目標に、現場を変えようとする力のある関係者・主査を対象に、急性期看護研修を開催しました。救急医療や集中治療におけるガイドラインの理解や病態変化の予測のつなげること、急性期やケアを受けられる治療やケア事例検討など、グループワークを含めた内容で構成されています。

急性期看護に関する知識と技術を備え、的確に情報を得てアセスメントし、看護の視点から患者の状態変化を予測し対応することは患者の全身状態やQOLの改善、安心感のため重要です。

発行年月日
2020年7月30日

発行人
A看護師
K看護師

今月のひとこと

コロナ禍第2波の警戒が広がりを見せている状況において日々体調管理に努めておられる方が多いのではないのでしょうか。お互いに声を掛け合い乗り切りましょう。

事例検討



お知らせ

受講者には昨年度に引き続き、研修を生かした取り組みをお願いしております。各部署で協力をお願いします。